

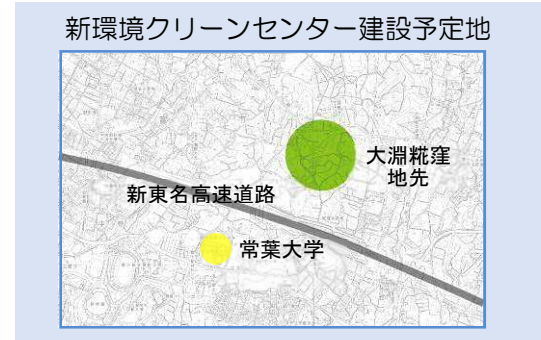
市の環境学習・環境啓発計画について

はじめに

富士市では、現在新しいごみ焼却場（新環境クリーンセンター）の建設を進めています。

この新環境クリーンセンターには、「環境学習施設」が併設されます。

本日はこの環境学習施設について



- なぜ必要なのか
- 施設の目指す姿は
- 今後どのように進めていきたいのか

の3点について説明させていただきます。

事前に実施したアンケート調査では、「新たに環境クリーンセンターが建てられることを知っていましたか？」という設問に対し、およそ68%の人が「知らなかった」という回答でした・・・

1. 環境学習施設がなぜ必要なのか

施設規模の縮小(ごみ減量化の推進)

新環境クリーンセンターは、現環境クリーンセンターの300t/日から250t/日に規模を縮小しており、ごみ減量化を継続して推進する必要性



循環型社会・低炭素化社会の形成

Reduce（ごみを減らす）、Reuse（何度も使う）、Recycle（使えなくなったものは資源にもどす）の環境にやさしい3つの活動（3R）を推進することで、循環型社会・低炭素化社会の形成に貢献



3Rの工夫を発信し、市民、企業、行政が協働して環境問題に取り組むための拠点の整備が必要に

協働の推進

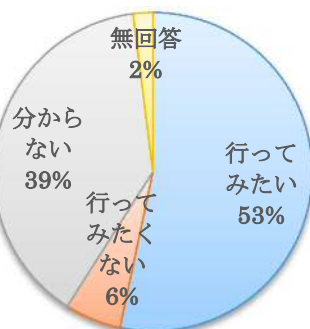
ごみ問題等の環境問題の解決のためには、市民、企業、行政がともに目的を共有して協力関係のもとでの取り組みが不可欠

地域の発展や活性化に寄与

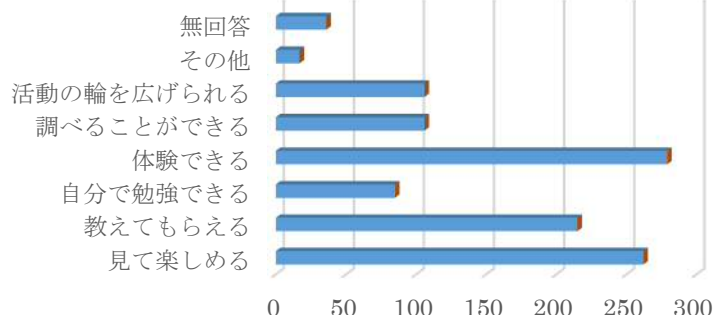
新環境クリーンセンターは、単なるごみ焼却場ではなく、環境学習・環境啓発を通じて地域の発展や活性化に寄与

(参考) 環境学習施設についてのアンケート調査の結果

新しくできる環境学習施設に行ってみたいと思いますか？



新しくできる環境学習施設はどのようなところだとよいと思いますか？



2. 環境学習施設の目指す姿

環境学習施設での活動内容

- ・ 中古品・不用品の再生及び再生品の展示、交換等
- ・ ごみ問題の解決、環境に配慮したライフスタイルの定着、3Rの工夫と推進
- ・ 自然とのふれあいと親しみの醸成、身の回りの環境への関心の喚起等、環境全般にわたる教育・啓発
- ・ 富士山をはじめとした地域の自然環境を知るとともに保全活動を通じて、環境に配慮したライフスタイルを学んでいくための市民活動

・・・活動の事例・・・



分別啓発品の展示



環境啓発イベントの開催

これらの活動を
「3R協働活動」
と位置づけています

(目的)

環境に関心を持ち、実践する市民の育成

(基本方針)

- ①環境への関心を持つきっかけづくり
- ②環境をテーマとした賑わいと活力づくり
- ③自ら実践する市民の育成
- ④地域の自然環境を愛する気持ちの育成

3R協働活動の「主役」となるのは市民の皆さんです。

環境学習施設は、市民が主役となり、企業・行政と協働で運営していく施設を目指しています

<環境学習施設の基本仕様（概要）>

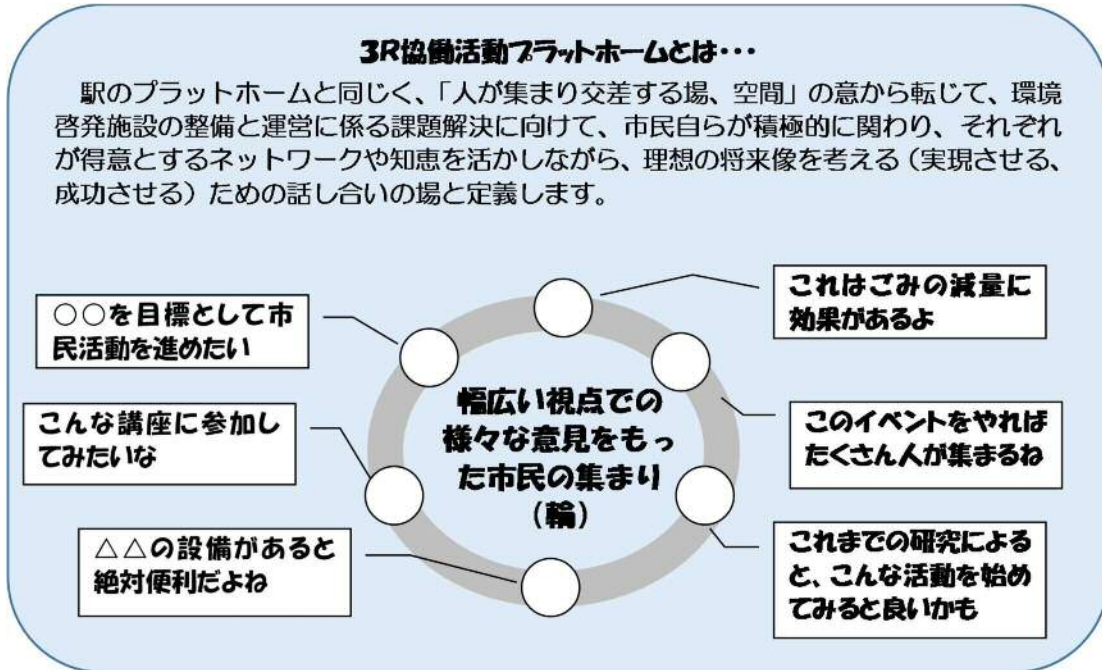
区分	主要施設	内容
賑やか交流ゾーン	エントランス&各種コーナー(300㎡)、展示コーナー(100㎡)	(1)初めて訪れた方の興味をもってもらえるようなプログラムを実施するゾーンとする。 (2)ひとつの空間に各種設備を配置することで、賑わいを創造することを意図する。
体験学習ゾーン	多目的室(200㎡)、キッチン(75㎡)、実習室(150㎡)	(1)施設見学や講座への参加等、施設や環境問題に興味を持った方が、集中して取り組む環境が必要となるプログラムを実施するゾーンとする。 (2)プログラムごとに専用の諸室と設備を設置する。
修理再生ゾーン	修理工房、再生品保管庫、保管庫(150㎡)、リユース食器保管スペース(30㎡)	(1)家具等の修理再生を行うゾーンとする。 (2)外部からの持ち込みや、展示コーナーとの連系に配慮する。
屋外ゾーン	自然保全ゾーン、屋外啓発ゾーン、森林環境創造ゾーン	(1)修理・再生棟の外部に設ける環境学習・啓発機能を備えるゾーンとする。 (2)屋外(本件施設の敷地全体)を利用するプログラムを実施するゾーンとする。

※この他に、トイレ、ホール・廊下などの共用ゾーンや事務室、ボランティア室などの管理ゾーンがあります。

3. 今後どのように進めていきたいのか

先行事例として参考にしてきた豊田市環境学習施設 eco-T（エコット）より、初期段階から広く市民参加を得ていく方法や、市民が主体的に考えていくことの重要性など、市民と行政の協働のあり方を学びました。

ここで得られた知識や方法論などを参考とし、地区の枠を超えた全市的な広がりを持たせ、市民の自主的な活動としていくため、「3R協働活動プラットフォーム」を立ち上げることになりました。



市民が主役となった施設とするために、今後、3R協働活動プラットフォーム、市、施設の設計等を行う協力企業との間で意見交換を行い、皆様のアイデアを可能な限り施設に反映していきたいと考えています

<今後の進め方のイメージ>

